



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月14日

上場会社名 A R アドバンステクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 5578 URL <https://ari-jp.com/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 武内 寿憲

問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員 （氏名） 竹内 康修

T E L 03 (6450) 6082

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績（2025年9月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年8月期第3四半期	12,145	17.7	908	61.8	927	63.3	528	112.4
2025年8月期第3四半期	10,315	23.5	561	96.1	568	93.1	248	39.9

（注）包括利益 2026年8月期第3四半期 527百万円（110.3％） 2025年8月期第3四半期 250百万円（40.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	53.94	52.66
2025年8月期第3四半期	25.28	24.38

（注）当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年8月期第3四半期	6,701	2,634	38.7
2025年8月期	6,762	2,169	31.4

（参考）自己資本 2026年8月期第3四半期 2,591百万円 2025年8月期 2,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年8月期	—	0.00	—		
2026年8月期（予想）				7.00	7.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。2026年8月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しております。

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	16,433	16.1	1,166	40.6	1,194	53.5	728	63.5	74.24

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年8月期業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の数値を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期3Q	10,407,180株	2025年8月期	10,373,520株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	600,381株	2025年8月期	600,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期3Q	9,803,585株	2025年8月期3Q	9,846,308株

(注) 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復が続きました。設備投資が持ち直すなか、雇用情勢や企業収益にも改善がみられた一方、人手不足感の高い水準で推移しました。物価上昇や金融資本市場の変動、中東情勢など海外経済の不確実性には留意を要する状況が続いたものの、省力化や生産性の向上を企図したデジタル化の動きは底堅く、IT、DXおよびAIを活用した投資環境は堅調に推移しました。

当社グループは、これまで培ってきたクラウド技術を基盤に、AI技術とデータ活用を中核としたDXソリューション事業へ重心を移し、AI駆動開発を前面に高付加価値領域での提案を積み上げました。このクラウド技術とAI技術開発のノウハウを活かしたAI駆動開発は、上流のコンサルティングからクラウドネイティブ・AIネイティブな開発までを一気通貫で担える点に特徴があり、大手システムインテグレータや専門のクラウドインテグレータとは異なる独自の立ち位置にあります。こうした開発力が評価され、国内有力企業からAI開発関連の大型案件の受注拡大につながりました。

あわせて、生成AIの開発環境を拡充して全社的にAIネイティブな開発体制づくりを進めるとともに、通常案件の高度化や既存顧客との取引深耕、新規顧客の開拓を進めました。エンジニア、コンサルタントの採用は計画を上回るペースで進み、採用した人材の早期戦力化に努めるなど、株式会社ピー・アール・オーを含むグループ各社の連携のもとで事業基盤を整えました。

これらの取り組みにより、AI駆動開発を中心とした高付加価値案件の受注が拡大し、売上高は前年同期を上回りました。AIに関連する案件の積み上げや生成AIを活かした案件の高度化、採用者の早期戦力化が奏功し、売上総利益率も改善し、収益性が一段と向上しました。戦略的な先行投資を計画的に消化しつつ費用効率を高めた結果、各段階の利益はいずれも前年同期を超え、財務基盤の安定にもつながりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高12,145,464千円（前年同期比17.7%増）、売上総利益3,795,763千円（前年同期比39.7%増）、営業利益908,973千円（前年同期比61.8%増）、経常利益927,769千円（前年同期比63.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益528,804千円（前年同期比112.4%増）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）は1,073,585千円（前年同期比56.0%増）となりました。

なお、当社グループは、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,050,083千円となり、前連結会計年度末に比べ26,885千円増加いたしました。これは主に流動資産のその他が74,435千円増加した一方で、現金及び預金が51,138千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,651,099千円となり、前連結会計年度末に比べ88,643千円減少いたしました。これは主に無形固定資産のその他が51,631千円増加した一方で、のれんが58,626千円、繰延税金資産が45,979千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は6,701,182千円となり、前連結会計年度末に比べ61,758千円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,674,630千円となり、前連結会計年度末に比べ401,055千円減少いたしました。これは主に短期借入金が140,000千円、賞与引当金が253,634千円、流動負債のその他が109,807千円それぞれ増加した一方で、買掛金が449,080千円、未払費用が268,822千円、未払法人税等が114,342千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は391,962千円となり、前連結会計年度末に比べ126,262千円減少いたしました。これは主に社債が20,000千円、長期借入金が101,583千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,066,593千円となり、前連結会計年度末に比べ527,318千円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,634,589千円となり、前連結会計年度末に比べ465,559千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が配当金の支払により65,154千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により528,804千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は38.7%（前連結会計年度末は31.4%）となりました。安定した利益創出、財務基盤の強化施策により、当社グループの財務健全性は引き続き堅調に維持されております。今後も資本効率の向上と持続的な成長を両立させる経営を推進してまいります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、2026年4月13日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,912,067	2,860,928
売掛金及び契約資産	2,015,202	2,018,791
その他	118,983	193,418
貸倒引当金	△23,054	△23,054
流動資産合計	5,023,198	5,050,083
固定資産		
有形固定資産	318,192	296,626
無形固定資産		
ソフトウェア	58,262	61,557
のれん	723,066	664,439
その他	156,052	207,684
無形固定資産合計	937,381	933,681
投資その他の資産		
投資有価証券	50,248	30,877
繰延税金資産	195,591	149,612
その他	255,553	258,563
貸倒引当金	△17,223	△18,261
投資その他の資産合計	484,169	420,791
固定資産合計	1,739,743	1,651,099
資産合計	6,762,941	6,701,182
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,104,621	655,541
短期借入金	940,000	1,080,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	190,321	146,126
未払費用	858,577	589,755
未払法人税等	318,608	204,266
賞与引当金	67,545	321,180
役員賞与引当金	38,200	24,581
受注損失引当金	15,674	1,236
その他	522,136	631,943
流動負債合計	4,075,685	3,674,630
固定負債		
社債	30,000	10,000
長期借入金	351,128	249,545
長期末払金	22,102	16,074
退職給付に係る負債	91,228	92,865
資産除去債務	23,767	23,478
固定負債合計	518,225	391,962
負債合計	4,593,911	4,066,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	141,717	143,563
資本剰余金	244,219	246,066
利益剰余金	2,046,296	2,509,946
自己株式	△308,248	△308,248
株主資本合計	2,123,985	2,591,328
新株予約権	-	0
非支配株主持分	45,044	43,260
純資産合計	2,169,029	2,634,589
負債純資産合計	6,762,941	6,701,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	10,315,898	12,145,464
売上原価	7,599,716	8,349,701
売上総利益	2,716,182	3,795,763
販売費及び一般管理費	2,154,467	2,886,789
営業利益	561,714	908,973
営業外収益		
受取利息	1,277	2,455
持分法による投資利益	—	15,750
助成金収入	11,910	5,163
保険解約返戻金	26,152	8,008
その他	718	3,919
営業外収益合計	40,058	35,298
営業外費用		
支払利息	12,880	15,790
社債利息	137	276
持分法による投資損失	18,524	—
その他	2,071	434
営業外費用合計	33,613	16,501
経常利益	568,159	927,769
特別損失		
減損損失	19,637	—
本社移転費用	27,501	—
特別損失合計	47,139	—
税金等調整前四半期純利益	521,020	927,769
法人税等	270,390	400,749
四半期純利益	250,630	527,020
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	1,689	△1,783
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,940	528,804

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年9月1日 至 2025年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年9月1日 至 2026年5月31日）
四半期純利益	250,630	527,020
四半期包括利益	250,630	527,020
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,940	528,804
非支配株主に係る四半期包括利益	1,689	△1,783

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間において、持分法適用関連会社であった株式会社emotivEの全株式を譲渡したことにより、持分法適用の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	81,782千円	105,984千円
のれんの償却額	44,628	58,626

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。